

「#行田」であなたも行田の広報マンになろう!

05 写真を撮ったらみんなに発信しよう



市内には花手水をはじめ、地域資源が多くあります。足袋蔵、古代蓮、忍城、埼玉古墳群など写真を撮りたくなる風景に出会うことも多いでしょう。まち歩きをしながら、料理を楽しみながら気持ちの赴くままにカメラを向けてみましょう。

そして、お気に入りの写真をツイッターやInstagramなどのSNSに投稿し、みんなと共有してみませんか。

#(ハッシュタグ)とは

ツイッターやInstagramなどSNSで「タグ」として利用され、#の後ろに特定のキーワードを入れて使います。同じキーワードでの投稿を瞬時に検索できたり、同じ趣味や興味を持つ人を簡単に見つけたりすることができます。検索するときや発信するときには、「ナンバー」もしくは「いけた」と打って「#」に変換しましょう。

<p>Twitter(ツイッター) 情報量重視のシンプルな仕様 一度の投稿で写真4枚、140字まで</p>	<p>簡単! 無料で使える SNS</p>	<p>Instagram(インスタグラム) 写真がメイン 必ず写真と一緒に投稿 写真は一度に10枚まで投稿可能</p>
--	---	--

ツイッター例

#行田 #行田ランチ
#ゼリーフライ #グルメ
#gyouda #まち歩き

みんなに教えたいときは「リツイート」
好き! 面白い!は「いいね」

合言葉は「#行田」

#を使ってあなたの作ったもの、食べたもの、そして行田の魅力を発信してみませんか。#を付けるだけでより多くの人に見つけてもらうことができ、行田に住んでいるからこそ見つかった行田の魅力をたくさんの人に伝えることができます。

「#行田」とつけて投稿するだけで、行田の面白さを世界に向けて発信できるのです。#を付ければ、あなたも行田の広報マンです。行田が誇る観光資源から、コロナ渦の今、改めて発見した行田の小さな魅力まで、どんなものでも大丈夫です。行田市民約8万人、みんなで行田を盛り上げていきましょう!

市ホームページでは皆さんの写真を募集しています

1月に市ホームページをリニューアルしました。市民の皆さんが参加できるコーナーを設けましたので、ぜひご利用ください。

- みんなの広場**
- 風景や料理、ペットなどの写真
 - イベント情報
 - メンバー募集 など



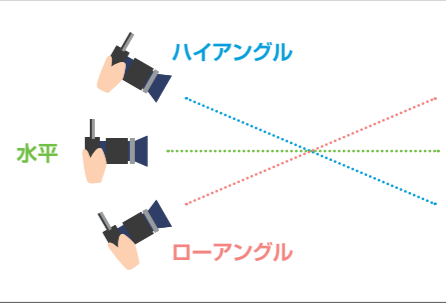
すまいるウォッチ
みんなが笑顔になれる人物写真

申し込みはこちらから → [一階を撮影](#) [すまいるウォッチについて](#) ← 申し込みはこちらから

03 カメラの位置を変えてみよう



カメラを構える角度(アングル)と高さ(ポジション)が違うだけで、同じ場所からの撮影でも印象が大きく変わります。アングルとポジションを組み合わせると写真のバリエーションを増やしてみましょう。



ウエストレベルで撮ると子どもの視点、ローポジションなら虫や猫の視点になることができます。視線を変えて非日常の景色を映し出してみましょう。

<p>アイレベル</p>	<p>アイレベル</p>	<p>ウエストレベル</p>	<p>ローポジション</p>
--------------	---------------------	----------------	----------------

さらにステップアップ!

スマートフォンを逆さにすると、レンズが地面に近づきより迫力が出ます。



04 「おいしい」を鮮明に表現しよう



ここまでのテクニックを組み合わせると、食事をおいしそうに撮影してみましょう。光やアングルを工夫しておいしさを表現します。

<p>ポイント1</p> <p>窓際の席がおすすめ 窓から差し込む光を利用し、斜光または逆光で撮ると料理の凹凸が表現され、立体的に見えます。</p>	<p>ポイント2</p> <p>斜め45度の角度で お皿は画面からはみ出してバランスをとりましょう。お皿に斜めの角度がつくことで料理にボリュームを感じられます。</p>	<p>ポイント3</p> <p>真上から全体を 真上から全体をふかんするとテーブルやクロス質感により料理が引き立ちます。定食や複数の小皿料理のときにも映えます。</p>	<p>ポイント4</p> <p>料理に急接近 お皿は気にせず料理に近づくことで、素材の新鮮さや料理の迫力を表現できます。メインのものを引き立たせ、後ろにあるものとの遠近感も楽しむことができます。</p>
---	---	---	--